

竹早だより

平成27年度7月号
平成27年7月6日
東京都立竹早高等学校
文京区小石川4-2-1
電話03(3811)6961

地下厨房跡の教室化工事開始！

校長 高田 純一

本校の悲願であった地下厨房跡の教室化工事がついに実施されることになりました。この厨房は定時制課程の給食を調理するために造られたものですが、現在の校舎への移転が平成5年3月、定時制の閉課程が平成8年3月ですから、厨房として使用されていたのが、わずか3年というはかない運命でした。その後は、文化祭の調理などに使用されてきましたが、数年前、調理器具が撤去され、廃墟となっていたものです。

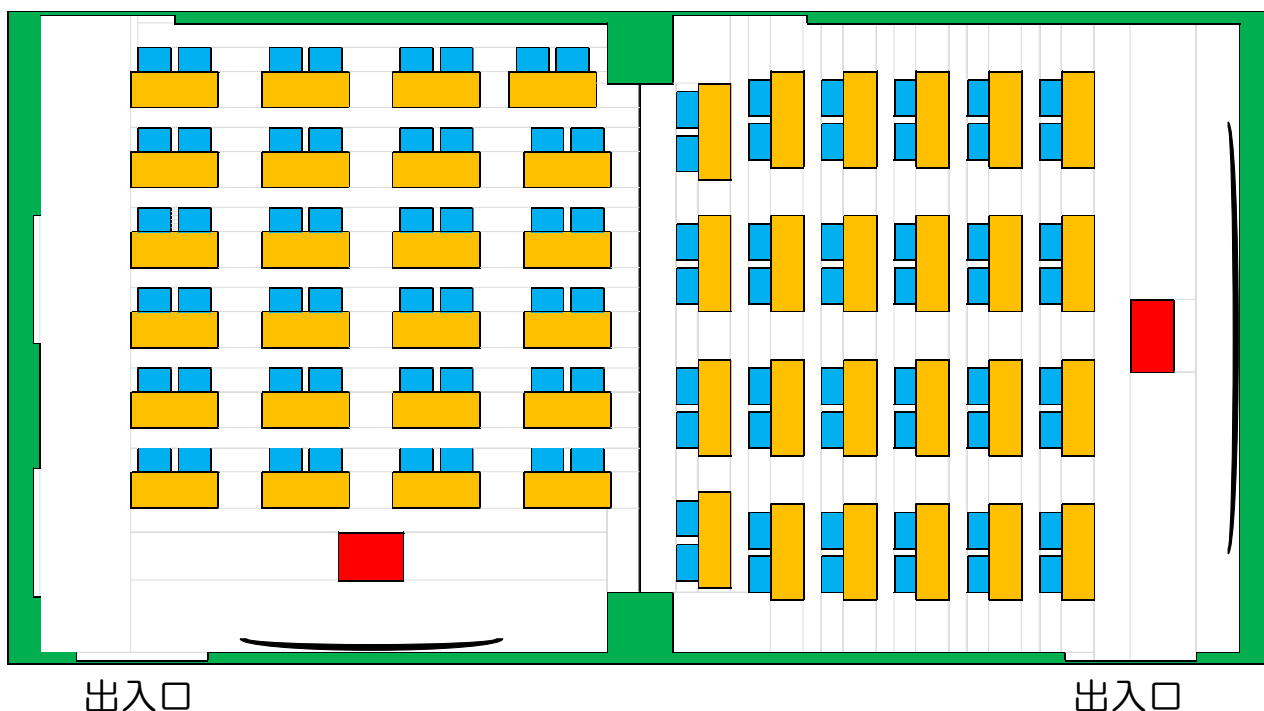
地下教室の完成イメージは下図のとおりで、東西それぞれの教室に2人掛けの長机を24台入れ、定員48名の教室となる予定です。黒板は「曲面暗線入」という見やすいものとなります。また、中央の仕切りを外せば、大教室として使用することもできます。通常の授業はもちろんのこと、「夏期講習」や「講演会」「学校説明会」などにフルに利用されることとなります。余剰教室の少ない本校にとって、これ以上はない朗報となりました。

工期は11月末までの約5か月間で、新年には教室として使用開始となる予定です。工事中は、多少の騒音が発生します。また、工事エリアには立ち入らないでください。皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

<地下教室完成イメージ>

西側教室〔48席〕

東側教室〔48席〕



さあ！「模擬試験」1週間前！

1・2学年対象の模擬試験が、7月13日（月）実施されます。「竹早夏の陣」とも言うべきこの夏の天王山に向けて、万全な準備をして臨みましょう。ここでは、模試のための勉強をしなければならない理由を説明します。

定期考査はゴールではなくスタート

中学校の定期考査は、ゴールと言う側面がありました。なぜなら、内申が高校入試に直接使用されたからです。「学力：内申＝7：3」が懐かしいですね。私立高入試では「併願優遇」もありました。しかし、大学受験は「学力：内申＝10：0」の世界です。（指定校推薦は、「学力：内申＝0：10」ですが、これは、あくまでも例外です。）定期考査の結果に満足することなく、そこで身に付けた知識を活用し様々なスタイルの問題に対応できる力をつける必要があります。定期考査はゴールではなくスタートです。これから1週間、模試に向けての勉強に励みましょう。

範囲がないのではなくすべてが範囲

よく「模試は範囲がないので勉強できない」という人がいますが、それは間違いです。範囲がないのではなく、「やったところすべてが範囲」です。特に数学はすぐに忘れてしまいますので、私なども模試のたびに教科書の1ページ目から復習しました。これを続けていけば、自然にスパイラル式の勉強ができて実力が身に付くのです。もちろん、それには膨大な時間がかかりますが、やるしかない。私は、国語2時間、英語2時間、という小刻みな勉強が苦手で、数学ばかり連続13時間やるといった勉強方法でした。人さまざまだと思いますが、自分の方法に従って取り組みましょう。

中学校のときとは異なる母集団

よく「中学校のときの偏差値65が57に下がってしまった」と嘆く人がいますが、それは根本的なところでの認識が誤っています。中学校のときの模試の母集団は東京や千葉、神奈川などの公立中学校の生徒が中心ですが、大学の模試は大学受験をする人が中心で、しかも全国規模ですからレベルが高くなります。偏差値が5～10下がるのはあり得ることです。だからこそ人一倍の努力により、上げていくしかありません。

ライバルは都立高生ばかりではなく、道府県立の進学校や中高一貫校の生徒たちです。偏差値を下げたくなければ、当然のことですが他の人たち以上にやるしかないわけです。

7月・8月の主な行事予定

〈7月〉

- 6（月）期末考査終
- 13（月）模擬試験（1・2年）
- 14（火）篁会特別セミナー（1・2年）
- 17（金）終業式・大掃除
- 18（土）保護者対象入試説明会（3年）
- 20（月）**海の日**
- 21（火）夏季休業日始

〈8月〉

- 19（水）ブリティッシュヒルズ始
- 21（金）ブリティッシュヒルズ終
- 31（月）夏季休業日終

